

平成21年度ふるさと子ども夢学校現地研修会・近畿ブロック 参加者事後アンケート集計表

■ふるさと生活体験に期待する効果について(回答者の意見の集約結果)

- ・児童の「生きる力」(自主性・課題解決への意欲、社会性・コミュニケーション能力、自己発見、共生の自覚と感謝等)創成への期待が主体である。
- ・自然体験、日本の文化・伝統・知恵や歴史の重みを感じられる体験として貴重なものと考えられており、また農山村はそういった直接体験のできる場所とみなされている。
- ・仲間との良い思い出づくりになると考えられている。
- ・受入地域の地域活性化についても、多くの教員が考えを及ぼしている。

■今後の課題(回答者の意見の集約結果)

- ・全員が「金銭面の負担」を課題として挙げており、補助金が継続しさえすれば続く事業と考えている教員もいる。一方で対案として、地方行政・教育委員会にサポート体制(費用負担、研修制度等)が移っていくべきとの提案がみられた。
- ・既存の学習計画とのバランスのとり方が憂慮されている。既存の内容に子プロの趣旨を反映させていくかたちのほうが導入しやすいとの意見があった。

参加者の所属・役職・氏名		1. ふるさと生活体験によって期待される効果とは	2. 小学校におけるふるさと生活体験の普及について		3. 小学校において「ふるさと生活体験」を普及させるための課題	4. 今後、小学校において「ふるさと生活体験」を普及させるために求められること	5. この取り組みに対してご意見がありましたら、ご自由にお書き下さい。		
所属	役職		所属校で実施したいか	その理由				小学校において「ふるさと生活体験」を普及させたいか	その理由
回答項目		自由回答	①ぜひ実施したい ②まあまあ実施したい ③どちらでもない ④あまりしたくない ⑤全くしたくない	自由回答	①ぜひさせたい ②まあまあさせたい ③どちらでもない ④あまりさせたくない ⑤全くさせたくない	①教員の負担 ②指導に自信がない ③授業時間数の不足 ④教育内容の未履修 ⑤教育効果が曖昧 ⑥児童の健康・安全面の不安 ⑦金銭面の負担 ⑧保護者の理解 ⑨教育委員会の了解 ⑩その他	自由回答	自由回答	
堺市立榎小学校(大阪府)	教頭	・日本の文化・伝統・知恵に具体的に触れる機会となる ・民泊をすることを通じて地域の人々との心の交流ができ、感謝の気持ちを醸成する良い機会となる(道徳教育の一環として位置づけられる)。 ・前もって、生活体験をする地域のことを学習して臨む等、課題意識を持って現地の活動を計画する事により、総合的な学習の時間の充実につながる。 ・少人数での分宿により、一人一人の児童への丁寧なかかわりができ、子どもたちにとって印象深い思い出づくりや充実感の創出が期待できる。	①ぜひ実施したい	1で記載した内容の効果が期待できると考えているから。	①ぜひさせたい	体験学習がこれからますます重要視されてきている中で、まだまだ学校現場でこのような取り組みを知らない現状があるから。	①教員の負担、③授業時間数の不足、⑦金銭面の負担、⑨教育委員会の了解	とにかく各市町村教育委員会への啓発を行っていくことが必要(現場まで情報が伝わらない)。補助がないと、児童一人当たりの自己負担が大きくなるのが実施の際のネックになると思う。 ※補助金がずっと出るのであれば、一気に普及すると思う。	生活体験学習の受入地域の整備に努力されている自治体、地域の方々の様子がわかったことが意義があった。地域の民泊の数を増やしていくことに期待します。
周南市立三丘小学校(山口県)	教諭	・仲間と体験活動を行うことができ、すばらしい思い出となると思う。 ・民泊を行うことにより、地域の方にも良い思い出ができ、地域の活性化にもつながっていくと思う。 ・体験活動は、人間の根っこの部分を太らせてくれることができると思う。	①ぜひ実施したい	学ぶ意欲を引き出し、ほんものの学習ができると思う。	①ぜひさせたい	農山村・漁村の地域づくりにつながるもので、地域の活性化にもなると思う。	⑦金銭面の負担 ⑧保護者の理解	・5年生で宿泊体験学習、6年生で修学旅行とほぼ決まっていると思う。指定を受けているときはよいが、定着していくためには、先のを「ふるさと夢プロジェクト」の趣旨を生かしたものにすることが大切だと思う。現に実施されているものに「ふるさと夢学校」のねらいの視点で充実していく方向が、長く続けられるものになるのではなかろうか。	・モニター体験であったが、実際に指導されている小学校の子どもたちの様子を拝見できたのが良かった。日程等の調整で大変でしょうが、次回も指導の実際場面を見ることができると様子がよく分かってよいと思う。 ・すばらしい研修会で大変満足しています。ありがとうございました。
松山市立湯山小学校(愛媛県)	教諭	・自主性が育つ ・社会性が育つ ・普段の生活では味わえない自然体験ができる ・計画段階で班の中での話し合い活動を行えるので、コミュニケーション能力が育つ。	②まあまあ実施したい	予算、受入地域の様子により難しい部分がある。しかし、子どものことを考えると実施したほうがプラスになることが多いのは分かっている。	③どちらでもない	子どもが育つ部分がたくさん期待できる活動である。しかし、それまでに解決すべき課題が多い。すべての学校となると、教科や学校行事との関わりや位置づけ、保護者負担、また受け入れ地域が本当に確保されるのか、など、難しいと感じることが多い。	①教員の負担、③授業時間数の不足、⑥児童の健康・安全面の不安、⑦金銭面の負担	・この活動を行うための補助制度は必要だと思えます(校納金や給食費の未納に代表されるように、保護者に経済的な負担をこれ以上求めることは厳しい)。 ・受入体制の整った地域を全国にきちんと整備できるかどうか	高野町は取り組みが進んだ地域だと思える。これが本当にすべての学校で行えたら素晴らしい取り組みになると思いました。

東温市立拝志小学校(愛媛県)	教諭	・現在行っている野外活動宿泊訓練と合わせて、それぞれの良さを考慮の上考えていきたい。 ・ふれあいと言う良さを生かして、体験できることが良かった。 ・民泊を通してのつながりを新たなコミュニケーションの出発としてよい体験ができる。	③どちらでもない	4泊5日は学校としてはリスクが大きい。4泊5日実施の場合予算の目処が立たない。	③どちらでもない	大規模校での実施には課題が多い。同時に全員でないと時差を使うと、2週間、学校として機能低下状態になる。	①教員の負担、③授業時間数の不足、④教育内容の未履修、⑦金銭面の負担、⑧保護者の理解、⑨教育委員会の了解	・教員が活動場所個々に打ち合わせする時間確保・資料準備等の負担 ・授業日に1週間、事前指導にかかる時間によって時数不足・学習内容未履修の可能性が高くなる。 ・金銭面においては、現行の額と同じぐらいで実施できることが必要である。 ・「ふるさと生活体験」実施校のみ別扱いは教育委員会としてもできないとのこと。	・高野町のように全面バックアップができる受入地域でないと初めて実施する学校では、なかなか難しいのではないかと ・2日間大変お世話になりました。
八幡浜市立千丈小学校(愛媛県)	教諭	全く環境や職業の異なる民家での生活というものは、実際にはそう体験できることではない。そのような家の方が自分たちのために様々なことをしてくれる姿から、感謝や、人を思いやる気持ち、人との関わり方など、色々なことを感じるであろう。また、学校とは異なる、友人とのつながりや、発見をすることができる活動である。教師から離れることで、厳しい面と、ゆとりのある面と、メリハリの効いた活動も可能であり、学校生活では味わえない心地よさも感じると思う。	②まあまあ実施したい	教育的な効果が高い。ただし、しっかりした受入地域の確保や役割分担がないと、教師の負担(特に学級担任)が大きい。	②まあまあさせたい	左記と同様	①教員の負担、④教育内容の未履修、⑦金銭面の負担	(3)に書いたとおり、教員の負担をいかに減らすか、補助金がない場合、保護者に経済的な負担をなくせるか、だと思う。	やはり、お金がネックになってくると感じる。今後4年ほどかけて、地域を起こして、受入地区を増やしても、いざ、本格実施になったときに補助金が出なくて、参加学校が激減するという可能性もある。その辺の予算の確保をしっかりとやっていないと、戻すほみの活動になってきそうな感じがする。
甲賀市立山内小学校(滋賀県)	教諭	このプロジェクトのキャッチフレーズの通り、児童の生きる力を育む、すばらしい活動だと思います。児童の意欲をそそる体験、地域の方々との交流において得たことは、これから生きる児童の大きな糧になると思います。			③どちらでもない	それぞれの学校の実態に合わせての実施になると思う。	⑦金銭面の負担	・補助金支給の継続 ・実践校の活動内容の発信	2日間大変お世話様でした。得ましたことを本校職員にしっかり伝えたいと思います。ありがとうございました。
日本生活体験学習会(福岡県)	理事	・学校ではなかなかできない直接体験をじっくり、ゆっくりとすることができる。 ・民泊は、都市生活ではできない、食生活の素晴らしさを感じることができる。自分たちが手料理を作るなど ・お試しバックではなく、実体験をゆっくりにできるので、子どもたちの集中力、工夫力、創造力を高めることができる。			①ぜひさせたい	福岡では1地区しかないと聞きました。ぜひ、帰ったら、県教委に話をしたいと思いました。		各組織の連携、しっかりしたパイプが確立していること。このパイプ作りが大切な、と思いました(注:別紙に図あり)。特に行政と地域を結ぶコーディネート組織、今回の場合、茶原さんのような人をどう育てていくかが重要。	とにかく、モデル地区での効果評価を行い、この事業の有効性を分析研究しながら継続の道を見出していく必要があります。 ・学校での教育効果 ・子ども・保護者の評価 ・地域での活性化状況 以上3点をトータルにいく。
名古屋市教育委員会(愛知県)	環境相談員	バーチャルでない本当の体験	②まあまあ実施したい		①ぜひさせたい		①教員の負担、③授業時間数の不足、④教育内容の未履修、⑥児童の健康・安全面の不安、⑦金銭面の負担、⑧保護者の理解、⑨教育委員会の了解		

NPO法人ナック(NAC) (大阪府)	理事	実体験は一つ一つ心の中に残る。心の中に残ったことは学校においても家庭の中でも思い出し、そのことの話ができる体験が次の体験をするときにも役立つ。体験は積み重ね。			①ぜひさせたい	農家民泊は素晴らしい家族のふれあいが…農業体験も。		<ul style="list-style-type: none"> 理解のある農家を増やす 農家と学校の調整取れるコーディネータを増やす 受入地域のレベルを一定に 	<ul style="list-style-type: none"> 文科省は4泊か5泊程度を考えているようだが、小学校のすべてに対応できるかはて。 子どもたちにとっては非常に良いことである。また農家にとっても元気になる。 全小学校が対応できるように頑張ってもらいたい。
(株)農協観光西日本GT 支店(大阪府)	支店長	自立心の向上、コミュニケーション能力向上、大人になっても残る思い出づくり			①ぜひさせたい	子どもにバーチャルではない世界を長時間味わってもらいたい		世論を動かすこと	本気で教育を考えるなら長期の施策を明確に出してもらいたい。このままではこの事業は、補助金が出なくなったときに終わります。